

前橋市社会福祉審議会 第2回高齢者福祉専門分科会 議事録

◆ 日 時 令和6年10月30日(水) 午後1時30分～午後2時53分

◆ 場 所 前橋市役所 11階北会議室

◆ <出席者> 10人(敬称略) ◎=分科会長

委員： 柳澤和良 (群馬弁護士会)
五十嵐洋 (群馬司法書士会)
結城啓之 (前橋市歯科医師会)
清水奈保 (群馬県看護協会)
小林英俊 (前橋市社会福祉協議会)
◎後閑千代壽 (前橋市老人クラブ連合会)
久保田光明 (前橋市民生委員・児童委員連絡協議会)
小林明 (群馬県老人福祉施設協議会 中毛ブロック)
高橋慶次 (群馬県在宅福祉サービス事業者協会)
三俣和哉 (群馬県地域密着型サービス連絡協議会)

<欠席者> 4人

石川麻衣 (群馬大学大学院)
岩井丈幸 (前橋市医師会)
柳川右千夫 (群馬県老人保健施設協会)
高橋豊 (群馬県介護支援専門員協会 前橋支部)

<傍聴者> なし

◆ 議事内容 1 開会

2 市長諮問

3 議事

(1) 第8期まえばしスマイルプランの総括について

①介護保険事業の状況【資料1】

②目標への取組と評価【資料2】

(2) 第9期まえばしスマイルプランの取組状況について【資料3】

(3) 特別養護老人ホーム入所申込状況調査の結果について【資料4】

4 その他

5 閉会

◆ 配付資料

- ・諮問書(写) ※当日配付
- ・【資料1】【資料2】 第8期まえばしスマイルプランの総括について
- ・【資料2(概要)】 ※当日配付
- ・【資料3】 第9期まえばしスマイルプランの取組状況について
- ・【資料4】 特別養護老人ホーム入所申込状況調査の結果について ※当日配付
- ・【資料5】 介護人材の確保について
- ・【資料6】 令和6年度保険者機能強化推進交付金等の集計結果について
- ・【資料1参考資料】 ※当日配付

1 開 会

進行：五馬長寿包括ケア課参事

- ・傍聴者がいないことの報告
- ・群馬県看護協会から矢嶋委員に代わり清水委員就任の報告

2 市長諮問

- ・小川市長から後閑分科会長へ諮問書を提出
- ・小川市長及び後閑分科会長よりあいさつ

3 議 事

※議事開始前

- ・職務代理者の指名について

職務代理者であった矢嶋委員の辞任に伴い、後閑分科会長より、前橋市社会福祉審議会条例第6条第6項に基づき、群馬大学大学院の石川委員を新たに指名

(1) 第8期まえばしスマイルプランの総括について

①介護保険事業の状況

- ・【資料1】に基づき事務局から説明

<質疑等>

(三俣委員) <14頁以降> ③在宅サービス内の訪問介護と通所介護について、サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームを利用している人も含めたものか。

(事務局) そのとおり。純粋な在宅生活者といわゆる高齢者向け住宅の利用者とを分けて分析したものは、18から21頁までに記載している。

②目標への取組と評価

- ・【資料2(概要)】に基づき事務局から説明

<質疑等>

(柳澤委員) <3頁> 指標「地域包括支援センターの相談対応実件数」について、相談後にどうなったのか気になる。別のところで把握しているのか。

(事務局) 本計画の目標は純粋に対応した件数としている。細かい内容については、地域包括支援センター運営協議会で報告しているので、相談の主訴によって関わり方が変わってくるためご理解いただきたい。

(高橋慶次委員) <23頁> 指標「福祉用具貸与における実態調査数」について、具体的に何をしたのか。

(事務局) 実際に利用者の状態に合った内容の物が貸与されているかの確認をしている。

(柳澤委員) <5頁> 指標「成年後見制度市長申立て相談件数」について、実績値に対して目標値が大幅に少ないのはなぜか。

(事務局) 第7期計画の実績(見込)値を基に設定したが、実際は制度周知が進んだため、目標値を上回る実績を上げることができた。今期第9期も第8期の実績を基に設定している。

(2) 第9期まえばしスマイルプランの取組状況について

- ・【資料3】に基づき事務局から説明

<質疑等>

(三俣委員) <11頁> 「介護に関する入門的研修、介護に関するスキルアップ研修」について、開催回数や開催場所を教えて欲しい。

(事務局) 入門的研修は社会福祉法人ほたか会に委託し、春と秋の土曜日曜の各2日、合計4回の開催。スキルアップ研修は群馬医療福祉大学に委託し、今年度は2月に開催予定で、7日間にわたる長時間の研修となる。

(三俣委員) 研修終了後は施設等で働くのか。施設等とのマッチングを行っているのか。

(事務局) マッチングまでは行っていないが、福祉人材の無料職業紹介所を開設している県社会福祉協議会のマンパワーセンターへつなぐなどの対応をしている。

(3) 特別養護老人ホーム入所申込状況調査の結果について

- ・【資料4】に基づき事務局から説明

<質疑等>

(高橋慶次委員) 申込者数は重複しているものを整理した個人の人数か。

(事務局) そのとおり。

4 その他

- ・【資料5】「介護人材の確保について」に基づき事務局から説明

<質疑等>

(後関会長) 介護分野はもちろん自治会等の地域活動も人材不足となっている中では、外国人雇用も含めて外国人とどううまく付き合っていくかが今後の課題になると思う。

(三俣委員) 地域の支援という点では、施設の職員も自治会や民生委員と協力して支援方法を考えていきたい。また、人材確保という点では、人口減少の中では全産業で人材不足だが、オートメーション化が難しい介護分野では、新たな挑戦やアイデアでなければ問題解消できないと思う。

- ・【資料6】「令和6年度保険者機能強化推進交付金等の集計結果について」及び【資料1参考資料】に基づき事務局から説明

<質疑等>

※特になし

- ・次回開催について

(事務局) 次回は来年度の開催となるが、11月と3月の2回開催予定。

5 閉 会

（福島福祉部長） 本日はお忙しい中ご審議いただき感謝申し上げます。高齢者を取り巻く状況になかなか改善がみられない中、介護保険も含めた様々な課題に対して、市として今後もしっかりと取り組んでいきたいので、皆様には引き続き各々の視点からご意見をいただきたい。また、冒頭に市長から諮問させていただいたが、次期まえばしスマイルプラン策定についても、引き続きお力添えをお願いしたい。

以上